rTMS 療法をお考えの患者さん・主治医の先生へ

山口大学医学部附属病院では、反復経頭蓋磁気刺激（rTMS）療法を実施しています。

rTMS 療法とは

rTMS 療法とは、磁気によって発生した電流を利用して神経細胞を刺激し、脳の活動を変化させる治療法です。日本では、既存の抗うつ剤治療で十分な効果が認められない成人のうつ病患者に対して、2019 年 6 月から治療装置が保険適用となりました。

治療の対象となる方

次のすべての項目に該当する方は、治療の対象となる可能性があります。

事前チェック項目	該当すれば ○
成人（18 歳以上）である。	
診断がうつ病である。（※ 双極症は rTMS 療法の対象とならない。）	
以下のいずれかを満たす。 ● 1 剤以上の抗うつ薬を十分量かつ十分期間使用しているが、期待される治療効果が認められない。 ● 抗うつ薬による副作用が顕著で、十分な薬物療法が継続できない。	
電気けいれん療法（ECT）が推奨される症状（精神病症状を伴う重症うつ病エピソード・切迫した希死念慮・緊張病症状など）を示していない。	

たとえば脳動脈瘤クリップやコイルのような金属が頭部に植え込まれている場合など、治療を実施することができない場合があります。ほかにも、状況によっては治療の適応とならない場合があります。

治療を受けるにあたって

- 本院精神科神経科を受診していただき、専門医の診察を受ける必要があります。
- 専門医は、十分に検討したうえで治療の実施を判断します。
- 他院に通院中の方は、まずは主治医の先生とご相談ください。
- 治療を行う場合は、事前の検査や準備を含めておよそ 2 か月間の入院となります。

詳しくは、下記までお問合せください。

問い合わせ先

山口大学医学部附属病院精神科神経科外来
電話：0836-22-2506

2024.08